

グループディスカッション課題

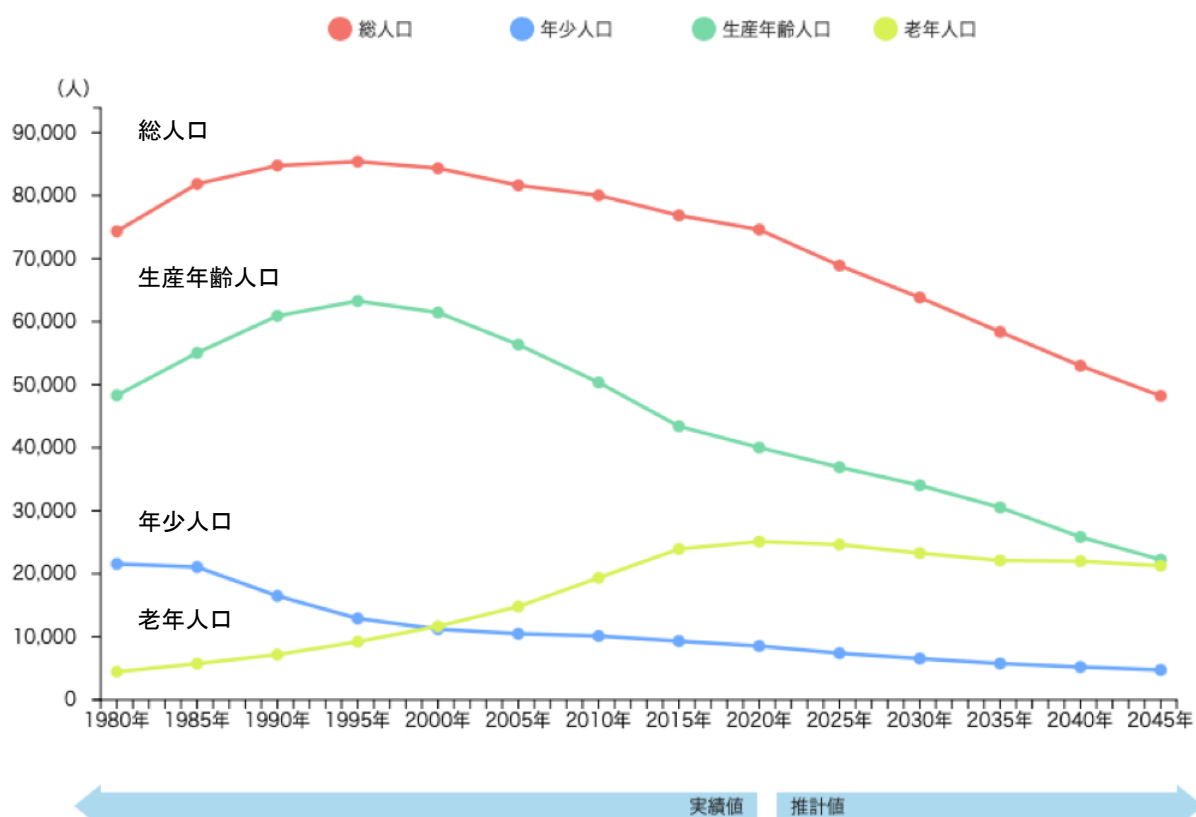
あなたたちは京都府の地方都市である大谷市の市役所において、地域振興策の立案を担当するメンバーである。

次に挙げる「大谷市の概要」及び先週の講義内容を踏まえて、人口減少や地方経済の縮小などの課題の解決につながる「ワクワクする地域振興策」を考えなさい。

なお、地域振興策は、最初に個人で考えた後に、グループで話し合い、最終的にはグループで4分間の発表としてまとめること。

大谷市の概要

- ・ 京都府の北部に位置する人口 75,000 人の内陸の地方都市。人口推移はグラフの通りである。
- ・ 京都市からは電車、車ともに2時間ほどかかる。
- ・ 小学校が10校、中学校が5校、高校が2校。大学はない。廃校となった校舎もあるが活用方針は未定。



(* 年少人口=15歳未満人口 生産年齢人口=15~64歳人口 老年人口=65歳以上人口)

- ・市内には大谷城跡があり城下町を起源とする中心市街地には歴史ある木造建築や古くからのお店も残る。
- ・その一方、中心市街地は高齢化率も高く、近年は空き家や空き店舗も増加し、まちの賑わいが失われつつある。
- ・市内の鉄道(電車)は利用者の減少による赤字が続き、大幅な減便も検討されている。現在の主な利用者は買い物、通院に利用する高齢者、通学利用の高校生である。この他、お花見や紅葉のシーズンには観光客の利用も多い。
- ・観光名所は、城跡の公園や旧城下町の町並みが挙げられる。観光に来る層は50代以降が中心で高齢者も多い。電車や車で2時間以内という近隣からの来客が多い。
宿泊施設が少ないためか、観光客の多くは日帰りである。なお一人あたりの観光消費額は、日帰り客が4,200円、宿泊客が22,000円であった。
- ・この他、山や川など豊かな自然も有している。
近年のキャンプブームもあり、無料のキャンプ場に人も数多くの方が訪れ賑わった。しかし、ごみの放置や騒音を引き起こすなど観光公害の拡大も懸念されている。
- ・地域の主要産業は、繊維産業を主とした製造業。
グローバルな経済社会情勢の影響も受けつつも、事業所数や売上は維持できている。経営者や従業員の高齢化が進み、担い手確保が課題である。
- ・また、稲作、果樹栽培(イチゴ、ぶどう)など農業も盛んである。ただし、山あいの集落では高齢化や後継者不足のため、耕作放棄地が増加しつつある。

スケジュール

- 11:10-11:15 (5分) 個人でお題を考える時間
- 11:15-11:45 (30分) グループでの議論、発表資料の作成
- 11:45-12:00 (15分) 議論の結果の発表(1グループ4分)